
2022年度第3四半期（4～12月）決算について

2023年1月26日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第3四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第3四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2022年度 連結業績予想	．．．	4
□2022年度 期末配当について	．．．	6
□参考資料	．．．	7

■ 第3四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	6,238	4,412	1,826	41.4
営業損益	△ 268	188	△ 457	—
経常損益	△ 315	130	△ 446	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 210	87	△ 297	—
1株当たり四半期純損益	△107円49銭	37円48銭	△144円97銭	

財政状態

（単位：億円）

	当第3四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	21,259	19,928	1,330
純資産	2,623	2,857	△ 233
自己資本比率	11.7%	13.7%	△ 2.0%

■ 第3四半期 連結決算の概要

売上高 (増収)	燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加や 小売販売電力量の増加などにより、 前年同期に比べ1,826億円増加の6,238億円となりました。
経常損益 (損失)	経営効率化の深掘りなどに取り組んだものの、 燃料価格の上昇や市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加などにより、 前年同期に比べ446億円減少し、315億円の損失となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純損益 (損失)	核燃料売却益を特別利益に計上いたしましたが、 経常損失となったことなどにより、 前年同期に比べ297億円減少し、210億円の損失となりました。

■ 2022年度 連結業績予想

2022年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、2022年10月26日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

なお、燃料価格や卸電力市場価格は大きく変動しており、今後の動向等を見極めてまいります。極めて厳しい収支状況が続く見込みです。

(単位：億円，億kWh)

	2022年度見通し			今回見通し 対前年度増減
	今回公表 (A)	10月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	9,210程度	9,700程度	△490程度	2,580程度
営業損益	△510程度	△640程度	130程度	△760程度
経常損益	△620程度	△700程度	80程度	△760程度
親会社株主に帰属する 当期純損益	△530程度	△710程度	180程度	△600程度
(対前年度増減率) 小売・他社販売電力量	(5.4%程度) 315程度	(5.4%程度) 315程度	同程度	16程度
(対前年度増減率) 小売販売電力量	(8.6%程度) 240程度	(7.1%程度) 237程度	3程度	18程度

※小売販売電力量および小売・他社販売電力量は、北海道電力(株)、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	135程度	137程度	△2程度	23程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	100.0程度	100.0程度	同程度	22.8程度

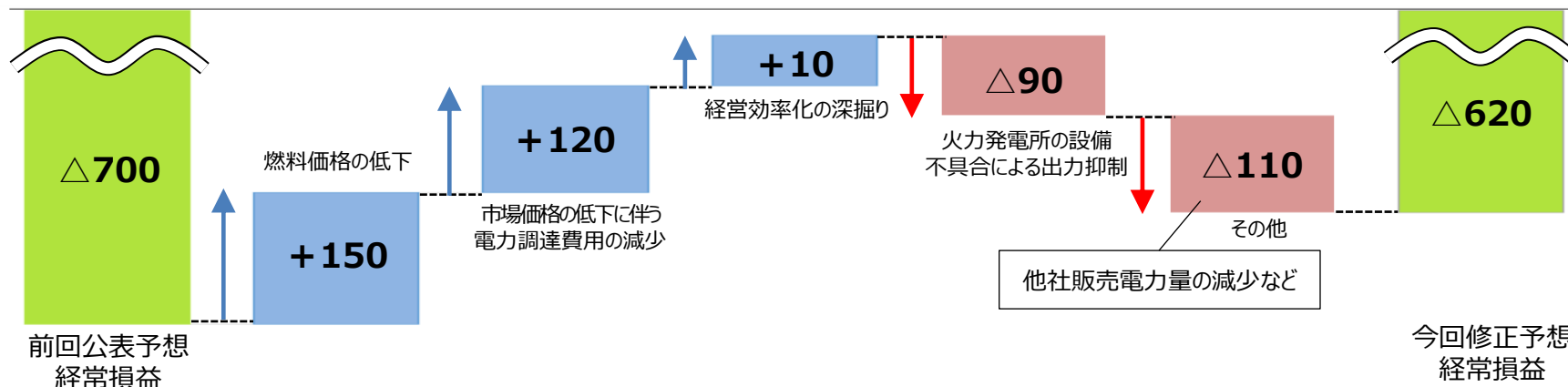
※1月以降、為替レートは130円/\$程度、原油CIF価格は80 \$/bl程度と想定しております。

■ 2022年度 連結業績予想の修正概要

小売・他社 販売電力量	産業用のお客さまの需要が増加する見込みであることや競争環境が緩和していることなどにより、小売販売電力量は増加する見通しですが、他社販売電力量が減少する見込みであることから、10月公表値と同程度の315億kWh程度となる見通しです。
売上高	小売販売電力量の増加はあるものの、10月公表時に比べ卸電力市場価格が低下する見込みであるため他社販売収入が減少することなどから、490億円減少の9,210億円程度となる見通しです。
経常損益	10月公表時に比べ燃料価格や卸電力市場価格が低下する見込みであるため燃料費や電力調達費用が減少することなどから、80億円損失幅が縮小し、620億円程度の損失となる見通しです。
親会社株主に帰 属する当期純損益	核燃料売却益を特別利益に計上したことや経常損失が縮小する見込みであることなどにより、10月公表値に比べ180億円損失幅が縮小し、530億円程度の損失となる見通しです。

< 経常損益の変動要因（対10月公表比較） >

（単位：億円程度）



■ 2022年度 期末配当について

期末配当予想につきましては、今後の燃料価格や電力市場価格の動向等を見極める必要があり、これまで未定としておりました。

最大限収支を改善できるよう全社を挙げて収益拡大や費用低減などの経営基盤強化に取り組んでまいりましたが、燃料価格や卸電力市場価格の高騰および円安の進行などから電力供給コストが電気料金収入を大きく上回る状態が続いており、2022年度通期の連結業績につきましては620億円程度の経常損失を見込んでいるため、自己資本の大幅な毀損が避けられない状況となっております。

したがいまして、誠に遺憾ながら、本日開催の取締役会において、普通株式および優先株式ともに期末配当を無配とすることを決議いたしました。株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるように努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2021年度 (実績)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2022年度	0円 (実績)	0円	0円	0円 (実績)	0円	0円

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常損益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常損益の変動要因（対前年同期比較）

業績予想

- ・連結経常損益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益 (売上高)	6,238	4,412	1,826	41.4
	電気事業営業収益	5,817	4,127	1,689	40.9
	その他事業営業収益	420	284	136	48.0
	営業外収益	40	46	△ 6	△ 13.0
合計		6,279	4,458	1,820	40.8
経常費用	営業費用	6,506	4,223	2,283	54.1
	電気事業営業費用	6,126	3,972	2,154	54.2
	その他事業営業費用	380	251	129	51.5
	営業外費用	88	104	△ 16	△ 15.6
合計		6,595	4,327	2,267	52.4
[営業損益]		[△ 268]	[188]	[△ 457]	—
経常損益		△ 315	130	△ 446	—
渇水準備金引当又は取崩し		3	0	2	390.8
特別利益		48	—	48	—
特別損失		—	15	△ 15	—
税金等調整前四半期純損益		△ 270	114	△ 385	—
法人税等		△ 62	23	△ 85	—
四半期純損益		△ 208	91	△ 299	—
非支配株主に帰属する四半期純利益		1	3	△ 2	△ 58.8
親会社株主に帰属する四半期純損益		△ 210	87	△ 297	—
(参考)	四半期包括利益	△ 204	82	△ 287	—

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、当社とご契約いただいたお客さまが増加したことなどから、合計で16,660百万kWh、対前年伸び率9.1%となりました。
- ・他社販売電力量は、小売電気事業者さまへの販売量が減少したことなどから、合計で5,272百万kWh、対前年伸び率△4.7%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小売	低圧	電灯	5,516	5,726	△ 210	△ 3.7
		電力	1,001	1,014	△ 13	△ 1.3
		計	6,517	6,740	△ 223	△ 3.3
	高圧・特別高圧		9,824	8,468	1,356	16.0
	小計(※1)		16,341	15,208	1,133	7.4
	その他(※2)		319	60	259	434.7
	合計		16,660	15,268	1,392	9.1
他社販売電力量		5,272	5,534	△ 262	△ 4.7	
小売・他社販売電力量合計		21,932	20,802	1,130	5.4	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コグリエーション(株)の販売電力量を示す。

連結決算－供給電力量

- ・供給電力量は、泊発電所が全基停止する中、出水率が105.9%と平年を上回ったことや、供給設備の適切な運用により、概ね安定した供給を維持することができました。
- ・なお、昨年12月22日に低気圧の影響に伴い発生した停電により、お客さまにはご不便、ご迷惑をおかけいたしました。各方面の方々から多大なご協力をいただき12月25日に復旧いたしました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発電 電 力 量	(出水率%)	(105.9%)	(95.9%)	(10.0%)	
	水 力	3,126	2,835	291	10.3
	火 力	11,366	12,848	△1,482	△11.5
	(設備利用率%) 原 子 力	(-)	(-)	(-)	-
	新エネルギー等	79	78	1	1.0
計		14,571	15,761	△1,190	△ 7.6
他社受電電力量※		9,730	7,394	2,336	31.6
揚 水 用		△ 323	△ 160	△ 163	101.8
合 計		23,978	22,995	983	4.3

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	6,238	4,412	1,826	41.4		
電気事業営業収益	5,817	4,127	1,689	40.9		
2 社 合 計 ※	電 灯 ・ 電 力 料	4,276	3,124	1,151	36.8	・燃料費調整額の増加 ・小売販売電力量等の増加
	そ の 他	1,552	1,010	542	53.7	・地帯間・他社販売電力料の増加 ・託送収益の増加
	地 帯 間 ・ 他 社 販売電力料(再掲)	1,128	639	488	76.4	
	託送収益(再掲)	347	323	23	7.3	
子会社・連結修正	△ 11	△ 7	△ 3	—		
その他事業営業収益	420	284	136	48.0		
営 業 外 収 益	40	46	△ 6	△ 13.0		
経 常 収 益	6,279	4,458	1,820	40.8		

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常損益）

（単位：億円）

		当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		6,126	3,972	2,154	54.2	
2 社 合 計 ※	人 件 費	425	417	8	1.9	
	燃 料 費	1,843	932	911	97.7	【増加要因】 ・燃料価格の上昇 ・小売販売電力量の増加 ・他社販売電力量の影響
	購 入 電 力 料	1,899	747	1,151	153.9	・市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加 【減少要因】 ・水力発電量の増加
	修 繕 費	482	437	44	10.1	・発電設備に係る修繕費の増加
	減 価 償 却 費	542	524	17	3.3	
	そ の 他 費 用	970	943	27	2.9	
	子会社・連結修正	△ 36	△ 31	△ 5	-	
その他事業営業費用		380	251	129	51.5	
営 業 外 費 用		88	104	△ 16	△ 15.6	
	支 払 利 息 (再 掲)	70	71	△ 1	△ 1.4	
経 常 費 用		6,595	4,327	2,267	52.4	
経 常 損 益		△315	130	△446	-	

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加や小売販売電力量の増加などにより、前年同期に比べ1,407億円増加の5,438億円となりました。
セグメント損益は、経営効率化の深掘りなどに取り組んだものの、燃料価格の上昇や市場価格の上昇に伴う電力調達費用の増加などにより、前年同期に比べ454億円減少し、305億円の経常損失となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、市場価格高騰に伴い再生可能エネルギーの販売価格が上昇した影響などにより、前年同期に比べ804億円増加の2,563億円となりました。
セグメント損益は、再生可能エネルギーの調整力確保に要する費用負担の減少はありましたが、燃料価格の上昇に伴い需給調整に係る費用が増加したことなどにより、ほぼ前年同期並みの61億円の経常損失となりました。
- ・その他の売上高は、前年同期に比べ184億円増加の1,122億円となり、セグメント損益は、電気通信事業の携帯電話事業者への回線提供収入が増加したことなどにより、前年同期に比べ7億円増加し、65億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

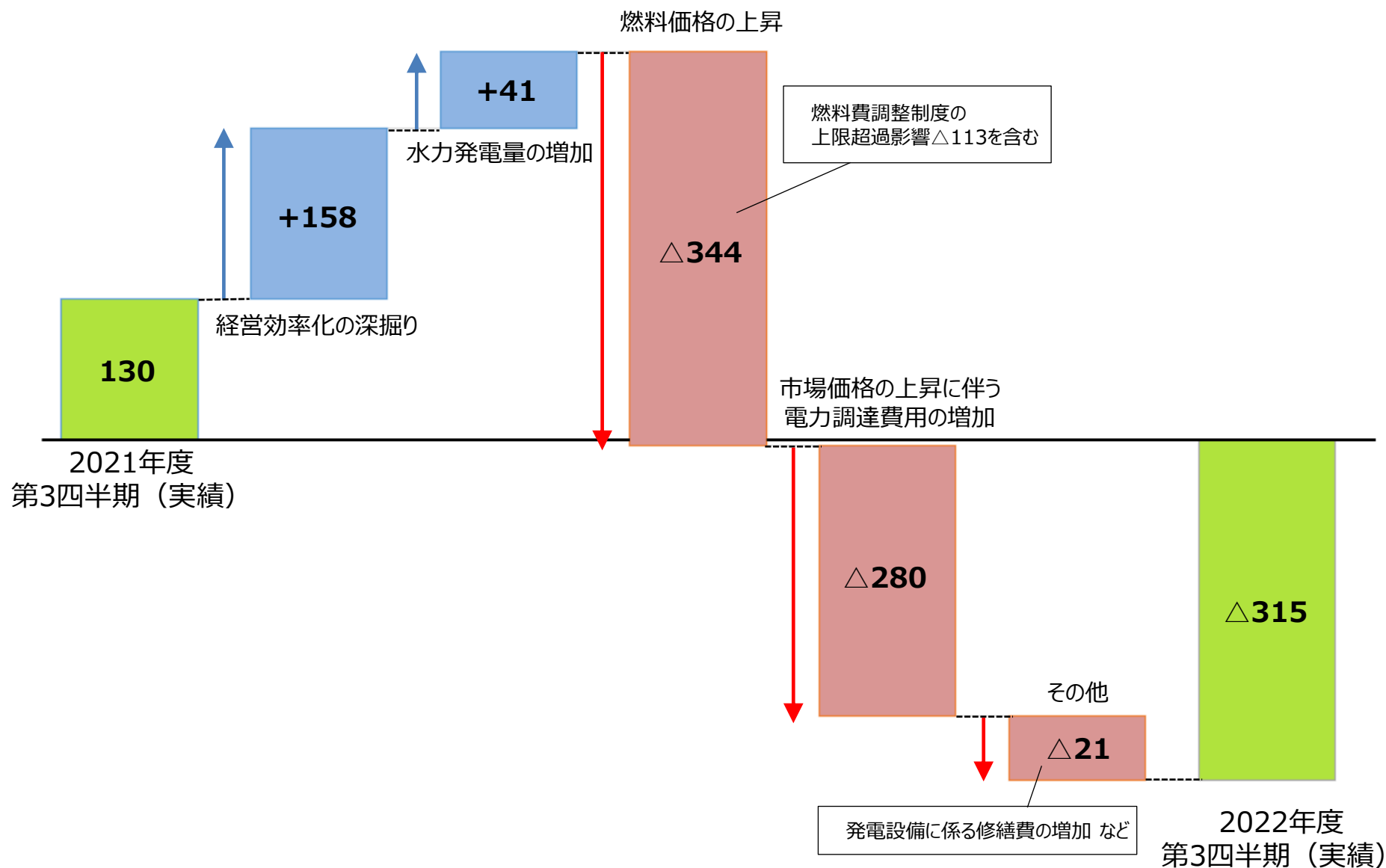
	当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)
売上高	6,238	4,412	1,826
北海道電力	5,438	4,030	1,407
北海道電力ネットワーク	2,563	1,759	804
その他※1	1,122	938	184
調整額※2	△ 2,886	△ 2,317	△ 568
セグメント損益（経常損益）	△ 315	130	△ 446
北海道電力	△ 305	149	△ 454
北海道電力ネットワーク	△ 61	△ 61	△ 0
その他※1	65	58	7
調整額※2	△ 14	△ 15	1

※1「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

第3四半期（連結決算）－経常損益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



連結業績予想－経常損益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）

